



報道関係者各位

2025年2月4日
株式会社ニトリホールディングス
株式会社ホームロジスティクス
株式会社エディオン

ニトリ×エディオン 家具・家電の幹線輸送で協業を開始 共同配送による効率向上と環境配慮を推進

株式会社ニトリホールディングス(注1)とニトリグループの物流部門を担う株式会社ホームロジスティクス(注2)(以下、ホームロジスティクス)、株式会社エディオン(注3)(以下、エディオン)は、川崎から仙台への家電の幹線輸送において、両社の物流効率の向上と環境負荷軽減を目的とした共同配送による協業を2025年1月12日より開始しましたのでお知らせいたします。

今回の取り組みでは、神奈川県川崎市にあるホームロジスティクスの物流センターとエディオンの物流センター2拠点で家具・家電を積み込み、仙台にある両社の物流センターで荷物の積み降ろしを行います。ホームロジスティクスが所有するスワップボディコンテナを活用し、シャーシとヘッドの分離および集荷ドライバーと荷降しドライバーを交代することで、積地・降ろし地の増加に対応可能です。この共同配送により、輸送トラックの台数を半減できるだけでなく、「物流2024年問題」による労働力不足にも対応してまいります。

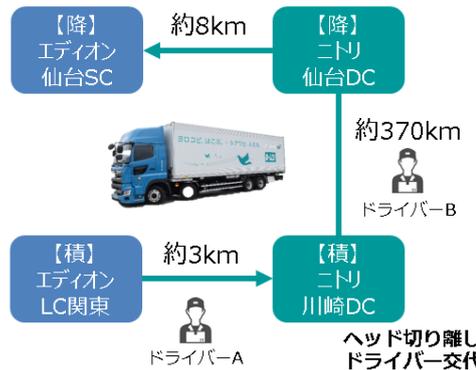
Before

それぞれで手配した車両で輸送(計740km)



After

ホームロジ手配車両で輸送(計381km)
※ スワップボディコンテナ利用しドライバー交代



【背景】

ニトリグループとエディオンは、これまで資本業務提携の一環として、商品の共同開発などさまざまな施策に取り組んでまいりました。こうした協業をさらに深化させる取り組みとして、両社の効率最大化を図るべく今回の共同配送を開始いたします。



報道関係者各位

2025年2月4日
株式会社ニトリホールディングス
株式会社ホームロジスティクス
株式会社エディオン

【効果】

これまでホームロジスティクスとエディオンがそれぞれ手配していた車両を、ホームロジスティクスのトラックに集約することで、輸送コストやCO2排出量の削減、積載率の向上が期待できます。さらに、労働力不足による商品供給リスクへの対応にもつながる重要な取り組みとなります。

【両社の今後の取り組みについて】

ニトリグループとエディオンは、協業を通じて物流効率の向上と環境負荷の軽減を目指します。今回の協業では、川崎から仙台への地方行きの輸送ルートで共同配送を実現できました。この取り組みを起点として、荷量がまとまりづらい地方への輸配送でさらに協業をすすめ、物流効率をより一層向上させるとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【注釈】

(注1)株式会社ニトリホールディングス:本社 札幌市北区 代表取締役社長 白井俊之

(注2)株式会社ホームロジスティクス:本社 札幌市北区 代表取締役社長 丸橋雄一

(注3)株式会社エディオン:本社 大阪府大阪市 代表取締役社長 執行役員COO 高橋浩三

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

株式会社ホームロジスティクス 経営戦略室 広報 (担当:久保、吉川、富永)

TEL:03-6741-1221

受付時間:9:00~18:00(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

お問い合わせフォーム:

<https://www.homelogi.co.jp/contact/service>

株式会社エディオン IR広報部

TEL:06-6202-6016